

事業者向け 放課後等デイサービス評価表

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			基準値に満たしているが、活動によって狭く感じる。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童発達管理責任者1名 保育士1名 児童指導員7名 作業療法士1名
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			段差解消でバリアフリー化されている。
業務改善	④	業務改善を進めるための計画・実行・評価・改善に、広く職員が参画しているか	○			毎度、ミーティングを行い反省点をあげ、次回に活かすよう心掛けている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			毎年同様、年に1回の利用にあたってのアンケートを実施と年2回の面談やその都度保護者との意見交換に努めている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			ホームページにて、自己評価表の開示をしている。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	今後の改善対策として検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			職場内研修・県や市の研修・職員個人での研修参加に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子ども保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			保護者や学校、他事業所の話の評価をもとに、個別支援計画書を作成している。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○		今年度はできなかった為、来年度から SM 社会生活能力検査を用いて保護者の方と協力して使用していく。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			児童発達管理責任者、保育士中心に会議で活動の立案を立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			2ヵ月ごとに目的を変更し、ルール遊びを中心に、製作、調理、買い物を季節ごとに行なっている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○			学校がある放課後の課題と、長期休みの課題は変更し、子ども達の様子によって支援の強弱をつけている。

	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動の課題が中心だが、係の仕事や買い物学習などを通し、課題を設定して計画を立てている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			支援開始 2 時間前には非常勤指導員も集まり、送迎の確認、活動の支援内容等を確認している。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか		○		以前に比べて、常勤、非常勤で反省や課題の伝達をするようになったが、全職員とはできていない。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			日誌や会議録を用いて、活動内容や利用者の課題など改善策を練っている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			年に 2 回の保護者面談・日々の連絡帳等で保護者や相談員とのコミュニケーションを図っており、その都度見直せるようにしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○			集団活動を重点にし、コミュニケーションや勝負事のルール遊びを行なっている。
関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			児童発達管理責任者、又は作業療法士が参加している。
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			支援級の担任の先生から予定表をいただく。急な時間割変更はお電話をいただく。
	㉒	家庭、教育、福祉とトライアングルプロジェクトの連携を意識して、情報共有など率先して行っているか	○			家族との連携を軸に、担任の先生と共有できる場が前年に比べて増えてきたが、普通級の担任とのコミュニケーションは難しい。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○		前年同様、児童発達支援センターや保護者同意の元行なっているが、保育園、幼稚園の情報共有はできていない。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	前年同様、相談員に申し送りしているが、卒業生に就労している子がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センターなどの専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			狭山市の児童発達支援センターや入間市の西武地域療育センターの先生へ助言をいただいている。
	㉖	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	○			児童発達管理責任者が毎月参加している。
	㉗	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の送迎時連絡帳、保護者面談で行なっている。時間が限られた中で伝えている。

	⑳	保護者の対応力の向上を図る観点から、施設での支援方法を保護者に伝達しているか	○			保護者から相談があった場合、ご家庭で挑戦ができる形の内容で伝えている。
保護者への説明責任など	㉑	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明をしている。災害時対策など毎年追加項目があるので、今後面談でお知らせしていく。
	㉒	保護者からの子育ての悩みなどに対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			送迎時や保護者面談で聞いている。又、直接やりとりが難しい場合は会社用携帯メールにてやりとりをしている。
	㉓	行事やイベントなど設け、保護者同士の交流の場を設けているか		○		保護者だけでの交流はない。年に1度、親子遠足で交流の機会を設けている。今後も親子で参加できる場を設けていきたい。
	㉔	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			現時点で苦情等はないが、改めて保護者の方に周知していき、ニーズに合わせていきたい。
	㉕	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎日の活動内容や子どもの様子等ブログや毎月の活動予定表を配布しお知らせしている。
	㉖	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報には外には出さない。書類等は鍵の倉庫に保管をしている。
	㉗	障害のある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			保護者の方と1番わかりやすい手段を考え、連絡を取り合えるようにしている。
	㉘	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	特に行なっていない。今後は検討していく。
非常時などの対応	㉙	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			毎年対策の変更がある場合は、面談や手紙でお知らせできるよう周知している。
	㉚	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年に2回消防士立ち合いの元、訓練を行なっている。今後は防犯訓練なども検討中。
	㉛	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			県、市の虐待研修に参加し、職員に周知している。
	㉜	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか			○	現状で行なっていない。
	㉝	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	医師から保護者の伝達で、食物アレルギーの対策をしている。
	㉞	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			作成している。支援が始まる前の会議にて、情報共有・対策を話し合っている。

